



WM9S-Plus

Version 1.1



NEC Corporation
Sep 2003



はしがき

本書は、StreamPro/WM9S-Plus(以下、WM9S-Plus と表記します)の利用方法について説明したものです。

本書の構成は次のとおりです。

章	タイトル	内容
1	StreamPro/WM9S-Plus とは	WM9S-Plus についての概説
2	環境設定	WM9S-Plus を動作させるための環境設定についての説明
3	運用	運用のためのツールについての説明
4	トラブルシューティング	問題が発生した場合の対処法

2003年 9月 第二版

2003年 5月 初 版

備考

- (1) 本書の説明しているすべての機能は、次のプロダクト名及びプロダクトリリースに対応しています。

OS 名	プロダクト名	プロダクトリリース
Microsoft® Windows® Server 2003, 32-bit Enterprise Edition for Embedded Systems with the Server Appliance Software Version 3.0 (1-8 Proc Version)	StreamPro/ WM9S-Plus	Ver 1.1

- (2) 本書は、以下のオペレーティングシステムに対応しています。

Microsoft® Windows® Server 2003, 32-bit Enterprise Edition for Embedded Systems with the Server Appliance Software Version 3.0 (1-8 Proc Version)

ただし、OS がバージョンアップする際に本書の内容が変更される場合があります。

Microsoft®, Windows® Server 2003、および Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

本書に登場する製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

目次

第1章 StreamPro/WM9S-Plus とは	1
1. 1 StreamPro/WM9S-Plus の機能	1
1. 2 StreamPro/WM9S-Plus の構成	2
第2章 環境設定	3
2. 1 WM9S-Plus の設定	3
2. 2 WM9S-Plus ログ収集サービスでの動作に関する注意	5
第3章 運用	8
3. 1 ログ収集サービス	8
3. 2 Web 管理インターフェース	10
3. 3 高度な管理設定	14
第4章 トラブルシューティング	18
4. 1 インストールに関するトラブルシューティング	18
4. 2 接続に関するトラブルシューティング	18
4. 3 運用に関するトラブルシューティング	21

第1章 StreamPro/WM9S-Plus とは

1.1 StreamPro/WM9S-Plus の機能

StreamPro/WM9S-Plus(以下、WM9S-Plus と表記します)は、Windows Server 2003 に搭載されているストリーミングサービス Windows Media サービス 9 に対して、以下の追加機能を提供します。

1. Web 管理ポータル機能

ユーザが、各種 WM9S-Plus の機能にアクセスする際のエントリページを提供し、Web ブラウザを用いたリモートアクセスを可能にします。管理ポータル画面では、タブ形式のフレームを使用して、各種搭載機能に加え、Windows Server 2003 の Windows Media サービス 9 の Web 管理コンソールや、インターネットインフォメーションサービス(IIS)の Web 管理コンソールに対しても、容易にアクセスを行うことができます。

また、将来新機能が追加された際にも、容易にインタフェース拡張を行うことができます。

2. 視聴ログのグラフィカル表示機能

Windows Media サービス 9 で出力される視聴ログのアクセス状況を、Web ブラウザ上でグラフィカルに表示することができます。この情報から、ユーザの視聴アクセス傾向を視覚的に確認することができます。

視聴ログのグラフィカル表示機能では、以下のような月・週・日単位での各種アクセス状況を表示できます。

- 日別アクセス状況表示
- 曜日別アクセス状況表示
- 時間帯別アクセス状況表示
- アクセス数上位ランキング表示
- アクセスプレイヤー種別表示

※ 上記のグラフィカル表示に対応した各種ログ以外にも、サーバの CPU 使用率、ピークアクセス数、ピーク帯域情報の CSV ファイル出力に対応しています。

3. Windows Media サービス 9 コンテンツファイル管理機能

Windows Media サービス 9 が動作しているマシン上のコンテンツファイルを、Web ブラウザを通して管理するための以下のような各種機能を提供します。

- 公開ポイントの選択機能
- リモートファイルのファイル情報表示機能
 - ◇ ファイル名、ファイルサイズ、更新日付、ファイル種別
- ファイルのリネーム機能
- ファイルの削除機能
- コンテンツファイルのプレビュー機能
- ファイルのアップロード機能

- ディレクトリの作成機能
- ディレクトリの削除機能

1.2 StreamPro/WM9S-Plus の構成

StreamPro/WM9S-Plus は、大きく分けて、ログ収集サービスと、Web 管理用 ASP との 2 つの構成に分けることができます。それぞれ、以下のような機能を持ちます。

◆ ログ収集サービス

サービスプログラムとして常駐し、Windows Media サービス 9 の出力するログの収集と集計、および Windows Media サービス 9 の各種ピーク性能の測定を行います。

同時にインストールされる「ログ収集サービス設定」プログラムで、ログ収集サービスの設定を行う事ができます。

◆ Web 管理 ASP

StreamPro/WM9S-Plus での各種機能を、Web から設定・表示するための ASP 機能を提供します。

第2章 環境設定

2.1 WM9S-Plus の設定

ここでは、WM9S-Plus の設定を変更するための手順を示します。

(1) ログ収集サービス設定

WM9S-Plus では、ログ収集サービスの各種設定を行うための「ログ収集サービス設定」アプリケーションを用意しています。

通常は、この設定を行う必要はありません。規定の状態のままで使用可能です。Windows Media サービス 9 での運用に合わせて、各種設定の変更が必要になった場合は、以下に示す方法で設定を行ってください。

◆ 実行方法

「スタート」-「プログラム」-「StreamPro WM9S-Plus」から「Log Service Config」を起動してください。(リモート管理を行う場合は、管理 Web インタフェースより、リモートデスクトップを起動した後、上記操作を行ってください)

インストール直後の場合、以下のような画面が表示されます。

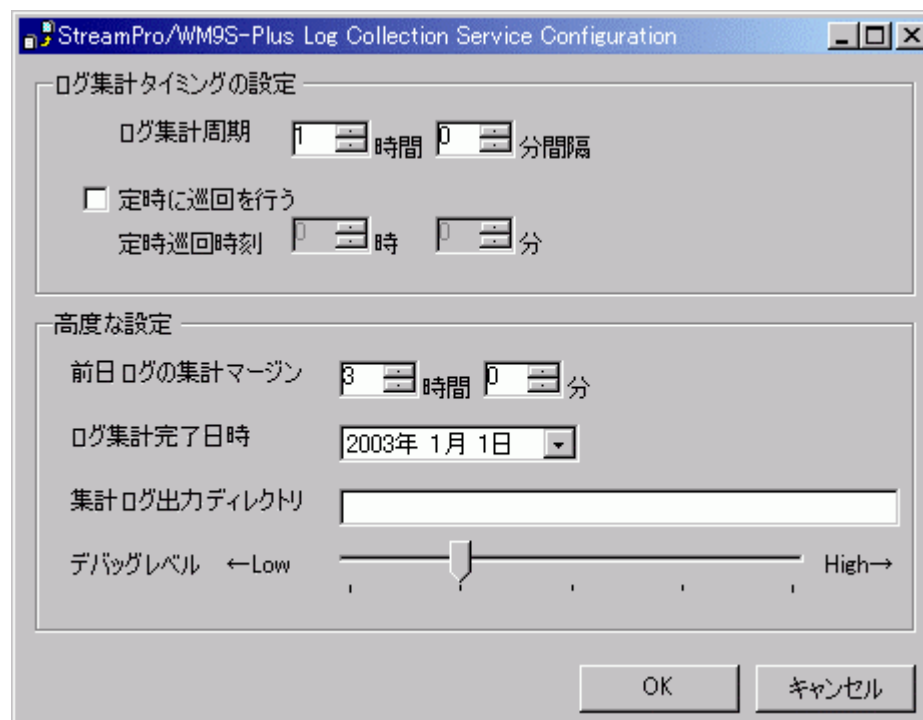


図2-1 ログ収集サービス設定プログラム

◆ 設定項目

ログ収集サービス設定では、以下の項目を設定することが可能です。

設定を中止する場合は、「キャンセル」を、設定を確定させるには、「OK」を押してください。

設定を確定させた場合、設定を反映させるために、「StreamPro/WM9S-Plus Log Collection Service」(以下、ログ集計サービスと記載します)を自動的に再起動します。なお、設定反映後の初回ログ集計は 2 分後に行われます。

ログ集計周期

ログ集計サービスでログを集計する周期を設定します。デフォルトは 1 時間です。

この値が大きくなると、Windows Media サービス 9 の出力するデータを、WM9S-Plus のログ表示画面への反映が遅くなります。また、この値を小さくすると、ログ視聴画面への反映は早くなりますが、サーバの負荷が上昇する可能性があります。

最低取得間隔は、10 分、最大取得間隔は 23 時間 59 分になっています。

定時巡回時刻

「定時に巡回を行う」チェックボックスをチェックし、定時巡回時刻を指定することで、ログ集計サービスで、毎日決まった時刻に必ずログを出力させることができます。デフォルトでは、この機能は無効になっています。

なお、定時巡回時刻に巡回した次の巡回時刻は、定時巡回時刻にログ集計周期を足した値となります。

※これ以降の設定は、高度な設定となります。通常は変更の必要はありません。

前日ログの集計マージン

ログ集計サービスでログを集計する際に、何時間先までのログを、翌日も集計の対象とするかを示す時間です。非常に長いコンテンツをユーザが日をまたがって視聴した場合にログの集計から外れることを防ぐために、設定します。デフォルトでは、3 時間に設定されています。

通常は設定変更の必要はありません。設定を行う場合は、ユーザが視聴し得る最大コンテンツの時間より、大きな値を設定してください。

ログ集計完了日時

ログ集計サービスが集計を行って、集計が完了したと認識している日時を表しています。この日時情報は、集計によって変化します。過去のログを再集計させたい場合には、このログ収集完了日時を、サーバ導入前の時刻に設定することにより、次回巡回時に、現在

までのログを再集計することができます。

初回起動時は、この値は 3 ヶ月前の月頭に設定されています。ログ収集サービス起動後は、ここに表示されている時刻は、ログ集計サービスが集計を完了したと認識している日時に変化します。その日時以前の情報は集計の対象となりません。

集計ログ出力ディレクトリ

ログ集計サービスが集計を行って、集計ログを出力するディレクトリを表します。このディレクトリ名を変更することで、集計ログの保存位置を変更することができます。デフォルトは、「<インストール先ディレクトリ>¥LogSvc¥Logs」に出力先が設定されています。まだログ集計サービスでの集計が行われていない場合、何も表示されません。また、この入力フィールドを空白にすると、ログ収集サービス設定ディレクトリがリセットされ、デフォルト位置に変更されます。通常は、変更の必要はありません。

デバッグレベル

ログ集計サービスのデバッグ出力情報の出力レベルを設定します。通常は変更の必要はありませんが、ログ集計サービスの不具合調査や、ログ集計サービスの起動確認の際は、変更を行うことで、より多くのログを収集できます。デフォルトは「2」(左から 2 つ目)に設定されています。なお、デバッグログの出力ディレクトリは、「<インストール先ディレクトリ>¥LogSvc¥debugLogs」に設定されており、ログは 10 万行出力時か、起動時に新しく作成され、古いログは 5 世代まで保存されます。

2.2 WM9S-Plus ログ収集サービスでの動作に関する注意

■ Windows Media サービス 9 での設定

◆ Windows Media サービス 9 でのログ記録プラグイン

StreamPro/WM9S-Plus はインストール時に、Windows Media サービス 9 のサーバ全体のログ管理プラグインを有効に設定します。これを無効にすると、Windows Media サービス 9 に対するアクセスがログに出力されなくなるため、StreamPro/WM9S-Plus でのログ集計対象からも外れます。Windows Media サービス 9 のサーバ全体のログ管理プラグインは、必ず有効にしたままで運用してください。(各公開ポイントのログ管理プラグインは、無効のままでも問題ありません。)



◆ ログ記録プラグインでの詳細設定

ログ記録プラグインのプロパティに記載されている各詳細設定項目は、以下の形式に

対応しています。それ以外の設定を行った場合には、正常に動作しない場合がありますので、設定を変更する場合には、注意してください。

◇ 時刻形式

世界協定時刻(UTC)と、ローカル時刻のいずれの形式にも対応しています。

◇ バッファ

ログエントリをバッファに保持する方法と、ファイルに直接書き込む方法のいずれの形式にも対応しています。

◇ ファイル形式

Unicode 文字(UTF-8)と、ANSI 文字の双方に対応しています。

ログ集計サービス実行時の文字コード設定により、ファイル形式を自動的に認識します。ファイルヘッダに記録されている文字コード設定を認識していないため、Unicode 文字(UTF-8)と、ANSI 文字をサービスの途中で切り替えた場合は、現在のファイル形式と同じ形式のログのみ、正しく読み取ることができます。

◇ ログ形式

Windows Media サービス形式のみ対応しています。



◆ ログ記録プラグインでのログ出力ディレクトリ設定

ログ記録プラグインでは、ディレクトリ位置に使用できるワイルドカード文字は、以下のいずれかの文字のみをサポートしています。(ディレクトリ名を除いたファイル名の部分には、任意のマクロを使用可能です。) ログ出力ディレクトリを変更する場合には、注意して設定してください。



ワイルドカード文字	説明
%SystemRoot%	Windows のシステムディレクトリ
<d>	2桁形式の月の日付
<j>	3桁形式の通し日数
<m>	2桁形式の月
<V>	ログを記録する公開ポイント名 (サーバ全体:[Global])
<y>	2桁形式の年
<Y>	4桁形式の年

その他、Windows Media サービス 9 でサポートされているマクロ文字については、Windows Media サービス 9 のヘルプを参照してください。

第3章 運用

3.1 ログ収集サービス

(1) ログ収集サービスの運用について

インストール時に、Windows Media サービス 9 の出力ログを集計するログ収集サービス (StreamPro/WM9S-Plus Log Collection Service)がインストールされます。インストール直後に、ログ収集サービスは起動され、ログ収集活動が自動的に開始されます。以降は、再起動が発生した場合でも、マシン起動後に自動的にサービスが立ち上がります。

ログ収集サービスの収集設定を変更する場合には、前章に記載したログ収集サービス設定プログラムを利用して、設定を変更することができます。

ログ収集サービスでは、起動時のマシン負荷と、各サービスとの連携を考慮し、サービス起動後 2 分経過した後に初回のログ収集を行います。その後は、設定されたログ周期にしたがって定期的にログ収集活動を行います。

(2) ログ収集サービスでの収集ログの出力ディレクトリについて

ログ集計サービスは、集計ログを特定ディレクトリ以下に出力します。デフォルトは、「<インストール先ディレクトリ>¥LogSvc¥Logs」に出力先が設定されており、このディレクトリ下に日次ログ、週次ログ、月次ログの各種ログが出力されます。設定されているログ出力位置は、ログ集計サービス設定プログラム上の「ログ集計出力ディレクトリ」項目で確認することができます。

各ログファイルの意味合いは以下のようになっています。(出力先ディレクトリ:\$BASEDIR、年:YYYY、月:MM、日:DD、週:WW と表記します)

月次ファイルの出力ディレクトリ (\$MONTHDIR)	\$BASEDIR¥<YYYY>
日次ファイルの出力ディレクトリ (\$DAYDIR)	\$BASEDIR¥<YYYY>¥<YYYY>_<MM>
週次ファイルの出力ディレクトリ (\$WEEKDIR)	\$BASEDIR¥<YYYY>¥<YYYY>_w
月・時間帯別アクセス数ログ	\$MONTHDIR¥WMAccess_<YYYY>_<MM>.log
(月次)プレイヤー種別ログ	\$MONTHDIR¥WMPlayer_<YYYY>_<MM>.log
(月次)プロトコル種別ログ	\$MONTHDIR¥WMProtocol_<YYYY>_<MM>.log
(月次)アクセスランキングログ	\$MONTHDIR¥WMRanking_<YYYY>_<MM>.log
(月次)ピーク CPU 使用率ログ	\$MONTHDIR¥CPUUsage_<YYYY>_<MM>.log
(月次)ピーク割り当て帯域ログ	\$MONTHDIR¥PeakBandWidth_<YYYY>_<MM>.log
(月次)ピーククライアント数ログ	\$MONTHDIR¥PeakPlayers_<YYYY>_<MM>.log
(日次)プレイヤー種別ログ	\$DAYDIR¥WMPlayer_<YYYY>_<MM>_<DD>.log
(日次)プロトコル種別ログ	\$DAYDIR¥WMProtocol_<YYYY>_<MM>_<DD>.log
(日次)アクセスランキングログ	\$DAYDIR¥WMRanking_<YYYY>_<MM>_<DD>.log
(週次)プレイヤー種別ログ	\$WEEKDIR¥WMPlayer_<YYYY>_w<WW>.log
(週次)プロトコル種別ログ	\$WEEKDIR¥WMProtocol_<YYYY>_w<WW>.log
(週次)アクセスランキングログ	\$WEEKDIR¥WMRanking_<YYYY>_w<WW>.log

- アクセスログの一部は、Web 管理インタフェースのログ表示機能でグラフィカル

に表示することが可能です。

- 年は4桁、月/日/週は2桁の数字で記載され、1月の第1日曜日からは始まる週を第1週として表記されます。1月の第1日曜日以前は、前年度の最終週にログが集計されます。
- ピークCPU使用率は、1分毎のCPU使用率を調査し、その中でのピーク値を1時間辺りのピーク値として集計を行っています。
- ピークCPU使用率、ピーク割り当て帯域、ピーククライアント数の各ログは、ログ収集サービス設定プログラムで設定したログ収集間隔とは異なり、毎時0分を区切りとした1時間単位で値の集計を行います。

(3) ログ収集サービスでの出力フォーマットについて

ログ集計サービスで出力されるファイルは、CSV形式になっています。CSV形式に対応した表計算ソフト等でも読み取ることが可能です。以下に詳細なフォーマットを記載します。

1. アクセス数ログファイルフォーマット、各種ピーク値ログの出力フォーマット

これらのログは、以下のフォーマットで記載されます。

```
#StartDate: YYYY-MM-DD HH:MM:SS
#EndDate: YYYY-MM-DD HH:MM:SS
# <Day>,0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16,17,18,19,20,21,22,23
<YYYY-MM-DD>, <A0>, <A1>, <A2>, ..... , <A23>

例 :
#StartDate: 2003-02-01 00:00:00
#EndDate: 2003-02-03 02:40:00
# <Day>, 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23
2003-02-01, 32, 20, 9, 5, 5, 6, 7, 1, 4, 3, 9, 8, 22, 10, 8, 6, 6, 6, 3, 23, 13, 22, 43, 23
2003-02-02, 12, 50, 30, 15, 7, 3, 6, 0, 8, 9, 11, 12, 52, 30, 9, 3, 2, 0, 0, 11, 15, 34, 45, 86
2003-02-03, 73, 56, 32, 17, 15, 9, 17, 2, 6, 13, 9, 8, 52, 15, 12, 6, 7, 8, 10, 13, 23, 52, 73, 93
```

※ <ログ対象開始日時>と<ログ対象終了日時>を行頭に記載されます。

※ 次行に#<Day>以下のコメントが固定的に記載されます。

その次の行以降に、アクセス数ログデータが記載されます。一行につき、一日の情報をカンマ区切りのCSV形式で記載し、1つ目のフィールドには対象の日を、それ以降に0時から23時までのフィールドを出力します。

2. アクセスランキングログ、プレイヤー種別ログ、プロトコル種別ログ

これらのログは、以下のフォーマットで記載されます。

```
#StartDate: YYYY-MM-DD HH:MM:SS
#EndDate: YYYY-MM-DD HH:MM:SS
# <Number>, <FileName>
<Number>, <FileName>
.....
例 :
#StartDate: 2003-02-01 00:00:00
#EndDate: 2003-02-03 02:40:00
327, /hoge-hoge.wmv
246, /hero.wmv
```

- ※ <ログ対象開始日>と<ログ対象終了日>を行頭に記載されます。
- ※ 次行に#<Number>以下のコメントが固定的に記載されます。
その次の行以降に、アクセス数と、アクセスファイル名が行単位で出力されます。
アクセス数が多い順(降順)に並んでいます。

3.2 Web 管理インタフェース

(1) Web 管理インタフェースについて

StreamPro/WM9S-Plus は、リモート管理のための Web 管理インタフェースを提供します。Web 管理インタフェースでは、ユーザが、各種 WM9S-Plus や、IIS、Windows Media サービスの管理・設定画面にアクセスする際のエントリページを提供する Web 管理ポータル機能、各種視聴ログのグラフィカル表示機能、Windows Media サービス 9 のコンテンツ管理機能の各機能を提供します。

(2) Web 管理インタフェースの起動

※ ローカルマシンからの起動の場合

1. WM9S-Plusのインストールが完了している状態で、スタートメニューのプログラムより、「StreamPro WM9S-Plus」項目内の「WM9S-Plus Management Console」を選択してください。
2. ログインするためのユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されますので、ここで Administrator権限を持ったユーザ名と、そのパスワードを入力してください。
3. WebブラウザにWeb管理インタフェースのトップページが表示されます。

※ リモートマシンからの起動の場合

1. Internet Explorer 6.0以降を起動します。(※古いバージョンのInternet Explorer、または他のブラウザでは動作は保障されません。)
2. アドレスフィールドに、以下の形式でURLを入力します。

<http://<WM9S-Plusをインストールしたマシンのアドレス>:9099/>

例: <http://hoge-hoge.com:9099/>

3. ログインするためのユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されますので、ここで

Administrator権限を持ったユーザ名と、そのパスワードを入力してください。

4. Webブラウザに管理インタフェースのトップページが表示されます。

(3) Web 管理インタフェースの操作方法

Web 管理インタフェースを起動すると、WM9S-Plus の Top 画面が表示されます。画面上部には、各機能にアクセスするためのタブバーが表示されています。このタブ項目を選択することで、WM9S-Plus の各機能を選択することができます。

以下のタブ項目が選択可能です。

- Top
トップページを表示します
- WMS
Windows Media サービス9の管理を行います
- IIS
インターネットインフォメーションサービス (IIS)の管理を行います
- ログ統計
Windows Media サービス9の各種ログを表示します
- コンテンツ管理
Windows Media サービスのコンテンツを管理します



各項目の詳細な説明は、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを表示するには、WM9S-Plus の各ページの画面右上にあるアイコンをクリックしてください。

(4) Web 管理インタフェースでの操作上の注意

1. WM9S-Plus 全般のアクセスについて

- Internet Explorer のセキュリティ設定が厳しい場合、アクセス時に警告が表示される場合があります。この場合は、信頼済みサイトに該当するマシンの URL を追加してください。
- Web 管理インタフェースには、以下のポート番号でアクセスします。サーバと管理マシン間にファイアウォール等が設置されている場合には、該当するポート番号へのアクセスを開放する必要があります。




サービス	ポート番号(非 SSL)	ポート番号(SSL)
StreamPro/WM9S-Plus(全般)	9099	9098
WMS 管理機能	8080	8079
IIS 管理機能	(8099)<未使用>	8098

2. Windows Media サービス 9(WMS)管理画面へのアクセスについて

- Windows Media サービス 9 管理画面にアクセスを行う場合、再度認証を要求される場合があります。その場合は、再度 Administrator 権限を持ったユーザ名とパスワードを入力してください。
- Internet Explorer のセキュリティ設定が厳しい場合、アクセス時に警告が表示される場合があります。この場合は、信頼済みサイトに該当するマシンの URL を追加してください。
- Windows Media サービス 9 管理画面にアクセスする場合、画面の切り替わりに多少時間がかかる場合があります。もし 20 秒以上経っても画面が表示されない場合は、問題がある可能性がありますので、再度アクセスをやり直してください。
- Windows Media サービス 9 管理画面のトップページから、実際の管理画面に切り替わる際には、管理画面が別ウィンドウで新規に開かれます。
- SSL 通信に対応していない状態で、Windows Media サービス 9 管理画面を表示すると、「Web サイトで SSL が有効ではありません」もしくは「接続が安全ではありません」というメッセージが表示されます。SSL に対応させてこの表示を出力させないようにするには、次章に記載してあります「Windows Media サービス 9 Web 管理インタフェース(WMS ページ)の SSL 対応」を参照して、設定を行ってください。

3. インターネットインフォメーションサービス(IIS)管理画面

- IIS 管理画面にアクセスを行う場合、再度認証を要求される場合があります。その場合は、再度 Administrator 権限を持ったユーザ名とパスワードを入力してください。
- Internet Explorer のセキュリティ設定が厳しい場合、アクセス時に警告が表示される場合があります。この場合は、信頼済みサイトに該当するマシンの URL を追加してください。
- IIS 管理画面にアクセスした場合、証明書に関する警告が表示される場合があります。その際、「証明書の表示」を選択し、「証明書のインストール」を行うことで、証明書のインポートを行うことができます。これにより、以降、証明書に関する警告は表示されなくなります。
- IIS 管理画面にアクセスした際に、「状態: 警告」と画面上方に表示されることがあります。警告状態を解除するには、「状態: 警告」の部分をクリックし、表示されたメッセージを選択します。画面下部にメッセージが表示されますので、メッセージを読み終わったら「メッセージの消去」を選択してください。全ての警告メッセージを消去し

た後は、「状態: 通常」と表示されるようになります。

4. ログ統計画面

- ログ統計画面で表示されるログ情報は、ログ集計サービスによって一定時間毎に収集された情報となります。リアルタイム情報ではないため、情報の反映に若干の時間がかかる場合があります。なお、ログ集計のタイミングは、ログ集計サービス設定プログラムで設定を行う事ができます。設定の方法については、前章を参照してください。
- ログ統計画面は、タブ選択時に前日の日次集計の画面が表示されます。
- 画面上部の「設定」をクリックすると、ログ統計画面の表示設定画面へ移動します。
- ログ統計画面の設定画面で情報を設定した場合、「保存」ボタンを押して設定を保存してください。保存せずにページ移動を行った場合は、設定が保存されません。

5. コンテンツ管理画面

- コンテンツ管理画面のトップページは、Windows Media サービス 9 の公開ポイント選択画面となります。管理する公開ポイントを選択してください。公開ポイントのソースがディレクトリになっていない場合は、公開ポイントを選択できません。また、「/」の公開ポイントは Windows Media サービス 9 での<規定>の公開ポイントとなります。
- 公開ポイントを追加・削除する場合には、「WMS」のタブより表示される Windows Media サービス 9 の管理画面で編集を行うことができます。
- ファイルのアップロードでは、最大 2GB までのファイルをアップロードすることが可能です。また、0 バイトのファイルはアップロードできません。
- ファイルのアップロード完了後、アップロード先の画面は自動更新されません。アップロードファイルを確認するには「Refresh」アイコンを押して、画面を更新させてください。
- アップロードを実行した際に、エラーが発生した場合、エラーの原因を示すコードが表示されます。エラーコードの詳細を以下に示します。

エラーコード	説明
100	ファイル名の取得に失敗しました。
101	指定したアップロード先の公開ポイントが見つかりません。
102	アップロードファイルを作成できません。ファイルが使用中・もしくは使用権限がありません。
103	アップロードファイルが見つからないか、ファイルが 0 バイトです。

- ファイルの選択画面でファイル名、もしくはディレクトリ名に合わせて右クリックをすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューより、ファイル名やディレクトリ名の変更や削除などの機能が利用できます。

3.3 高度な管理設定

(1) SSL への対応

StreamPro/WM9S-Plus は、インストール直後の状態では、IIS 管理インタフェースへのアクセスを除き、SSL を使用していません。よりセキュリティの高い管理環境を求める場合、以下の方法で、SSL を使用した通信に対応させることができます。

- ※ StreamPro/WM9S-Plus がプリインストールされている場合は、下記の WM9S-Plus の SSL 対応と、Windows Media サービス 9 Web 管理インタフェース(WMS ページ)の SSL 対応はインストール時に、既に行われています。
- ※ 一度 StreamPro/WM9S-Plus をアンインストールした後、再度インストールする場合、WM9S-Plus の SSL 対応の部分は、自動的に設定されません。WM9S-Plus への SSL 通信を行うためには手動で設定を行う必要があります。

A) WM9S-Plus の SSL 対応

WM9S-Plus を SSL に対応させるためには、サーバに、SSL で使用する証明書のインストールを行う必要があります。

1. コントロールパネルの管理ツールから、「インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャ」を選択します。
2. 「Web サイト」の項目より、「StreamPro/WM9S-Plus」を選択し、右クリックメニューより、「プロパティ」を選択します。
3. 「ディレクトリセキュリティ」の項目から、「セキュリティで保護された通信」の項目の「サーバ証明書」を選択します。
4. 「Web サーバ証明書ウィザード」が起動します。「サーバ証明書」ページより、Web サイトに証明書を割り当てる方法を、「既存の証明書を使用」を選択します。
5. 予めマシンに搭載されている証明書が表示されますので、その証明書を選択して、「次へ」ボタンを押してください。使用ポートは、規定のまま、「9098」を使用してください。「次へ」ボタンを押すと、内容確認の後、証明書のインストールが完了します。



- ✓ 証明書は、予めマシンに搭載されている証明書以外にも、各証明機関が発行した証明書も使用可能です。他の証明書を使用する場合、証明書のインストール方法は、証明書発行機関の説明等を参照してください。

これで、WM9S-Plus の SSL インタフェースに関する設定が完了しました。

SSL 対応の WM9S-Plus にアクセスを行う場合は、通常の非 SSL でのアクセス方法とは異なる URL を使用します。インターネットエクスプローラを起動して、以下のように URL を入力してください。

https://<サーバマシンの IP アドレスまたはホスト名>:9098/

例: https://hoge hoge.com:9098/

また、通常の非 SSL 通信を無効にし、SSL 通信のみを有効にしたい場合は、インターネットインフォメーションマネージャ上で、「StreamPro/WM9S-Plus」のプロパティの「ディレクトリセキュリティ」の項目から、「セキュリティで保護された通信」の項目の「セキュリティで保護された通信」項目の「編集」ボタンを押し、「セキュリティで保護されたチャネル(SSL)を要求する」のチェックボックスにチェックを入れて「OK」を押してください。

これで、SSL 以外でのアクセスは行えなくなります。(この設定を行うと、非 SSL 通信では通信できなくなるため、スタートアップに登録されたショートカットから StreamPro/WM9S-Plus の起動が行えなくなりますので、ご注意ください。上記の https://を使用した SSL 通信でアクセスしてください。)

B) Windows Media サービス 9 Web 管理インタフェース(WMS ページ)の SSL 対応

Windows Media 管理ページを SSL に対応させるためには、SSL で使用する証明書のインストールを行う必要があります。

1. コントロールパネルの管理ツールから、「インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャ」を選択します。
2. 「Web サイト」の項目より、「Windows Media 管理サイト」を選択し、右クリックメニューより、「プロパティ」を選択します。
3. 「Web サイト」の SSL ポートに「8079」を設定し、「適用」ボタンを押します。(「8079」のポート番号が他で使用されている場合は、「8079」以外の使用していない任意のポート番号を設定することができます。その場合、以降の「8079」の表記を、設定したポート番号に置き換えてください。)
4. 次に、「ディレクトリセキュリティ」の項目から、「セキュリティで保護された通信」項目の「サーバ証明書」を選択します。
5. 「Web サーバ証明書ウィザード」が起動します。「サーバ証明書」ページより、Web サイトに証明書を割り当てる方法を、「既存の証明書を使用」を選択します。予めマシンに搭載されている証明書が表示されますので、その証明書を選択して、「次へ」ボタンを押してください。使用ポートは、規定のまま、「8079」を使用してください。さらに「次へ」ボタンを押すと、内容確認の後、証明書のインストールが完了します。

これで、Windows Media サービス 9 Web 管理インタフェースの SSL インタフェースに関する設定が完了しました。次に、StreamPro/WM9S-Plus のメニュー設定の変更を行います。

6. StreamPro/WM9S-Plus をインストールしたディレクトリ下の「Web¥config¥menu」のディレクトリを、エクスプローラで開きます。(通常は以下のディレクトリになります。「C:¥Program Files¥StreamPro WM9S-Plus¥Web¥config¥menu¥」)
7. そのディレクトリ内のファイル「wms.mls」を任意のディレクトリにコピーし、ファイルのバックアップを取ります。
8. そのディレクトリ内のファイル「wms.mls」をテキストエディタ(notepad 等)で開き、以下に示すように、URL の指定行を編集します。

```
Order=10
Name=WMS
URL=http://<マシンの IP アドレス>:8080/default.asp
↓ 以下のように修正します ↓
URL=https://<マシンの IP アドレス>:8079/default.asp
```

9. 編集したファイルを保存します。

これで、Windows Media サービス 9 の SSL インタフェースに関する設定が完了しました。以降の StreamPro/WM9S-Plus 内での Windows Media サービス 9 の管理画面へのアクセスは、SSL 対応となります。

もし、動作に不具合がある場合や、非 SSL 対応でのアクセスに戻りたい場合には、バックアップを取っておいた「wms.mls」ファイルを元に戻してください。

(2) 認証方式の変更

インストール直後の StreamPro/WM9S-Plus の認証方式は、統合 Windows 認証となっています。統合 Windows 認証以外の認証方式を使用したい場合は、以下の方法で認証方式を変更することができます。

1. サーバマシンのスタートメニューの管理ツールより、「インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャ」を選択します。
2. 「Web サイト」の項目より、「StreamPro/WM9S-Plus」を選択し、右クリックメニューより、「プロパティ」を選択します。
3. 「ディレクトリセキュリティ」の項目から、「認証とアクセス制御」項目の「編集」を選択します。
4. 認証方式を選択する画面が表示されます。デフォルトの状態では、「統合 Windows 認証」が選択されていますので、ここで使用したい認証方式を選択してください。

※ 匿名アクセスを有効にする場合、適切なユーザ権限を持ったユーザを設定しないと、StreamPro/WM9S-Plus に対してアクセスすることができません。これを解決するには、

匿名ユーザに適切なユーザ権限を与えるよう設定する必要があります。しかし、これは同時にセキュリティを低下させる要因となりますので、匿名アクセスを有効にすることは推奨されません。匿名アクセスを有効にする場合は、注意して運用・管理を行ってください。

第4章 トラブルシューティング

4.1 インストールに関するトラブルシューティング

- インストーラでのインストール中に、「インストール不適合の検出」ページで警告が表示された
インストールを行うマシンが Windows Server 2003 でないか、インストーラ実行以前に IIS や Windows Media サービス 9 のインストールが正しく行われていない場合が考えられます。一旦 StreamPro/WM9S-Plus のインストールを中断し、インストールマニュアルに従って、事前に必要な Windows コンポーネントのインストールを行った後に、再度 StreamPro/WM9S-Plus のインストールを行ってください。
- アンインストールで、「変更」や「修正」を行った際に、正しく再インストールされない
StreamPro/WM9S-Plus でのアンインストールは、「削除」の機能しかサポートしておりません。物件の再インストールを行いたい場合は、一度削除した後に、再度インストールを行ってください。

4.2 接続に関するトラブルシューティング

- WM9S-Plus の管理画面にアクセスした際、「接続に失敗しました」と表示され、アクセスに失敗する。
まずは、スタートメニューより、ローカルマシンで StreamPro/WM9S-Plus が起動できるかどうかを確認してください。ローカルでもアクセスに失敗する場合は、以下の原因が考えられます。
 - (ア) SSL への対応を行った際に、SSL のみでのアクセス設定を行っている場合は、SSL を利用した接続(https://...での接続)を試してください。
 - (イ) それ以外の場合には、サーバマシンのWWWサービスが停止しているか、StreamPro/WM9S-Plus のWebサイトが停止していることが考えられます。まず、WWW サービスの状態を確認するため、サーバマシンのスタートメニューの管理ツールより、「サービス」を選択し、「World Wide Web Publishing Service」のサービス起動状態を確認します。ここで、起動されていない場合は、サービスを開始させてください。(スタートアップの状態を「自動」にすると、再起動後も自動的に起動されます)
 - (ウ) Webサイトの状態を確認するため、サーバマシンのスタートメニューの管理ツールより、「インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャ」を選択し、「Web サイト」の項目より、「StreamPro/WM9S-Plus」を選択し、サービスが開始されているか確認してください。もし、サービスが停止されて

いた場合は、開始させてください。

(エ) StreamPro/WM9S-Plus のインストール時に、マシンの IP アドレスを確定されていない場合、起動ショートカットが正しく生成されない場合があります。スタートメニューのショートカットが間違っている場合は、一度アンインストールを行ない、ホスト名の IP アドレスを確定させた状態で、再度インストールを行ってください。

- WM9S-Plus の管理画面にアクセスした際、認証画面が表示された後に「ページが見つかりません」と表示され、アクセスに失敗する。

ASP が有効になっていないことが考えられます。サーバマシンのスタートメニューの管理ツールより、「インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャ」を選択し、「Web サイト」の項目より、「Web サービス拡張」を選択し、「Active Server Pages」を「許可」に変更してから、再度アクセスを行ってください。
- Internet Explorer 以外のブラウザでアクセスした際、画面が乱れる
StreamPro/WM9S-Plus は、Internet Explorer 6 にのみ対応しています。それ以外のブラウザを使用した場合や、古いバージョンの Internet Explorer でアクセスした場合動作は保障されません。
- 管理画面にアクセスを行う場合、認証を要求されるダイアログが表示される
StreamPro/WM9S-Plus へのアクセスは、認証が必要です。Administrator 権限を持ったユーザ名とパスワードを入力してください。また、WMS や IIS の管理画面を表示する場合に、再度認証が要求される場合があります。この場合も、同様に Administrator 権限を持ったユーザ名とパスワードを入力してください。
- WM9S-Plus 管理画面にアクセスした際に、サイトに関するセキュリティ警告が表示される
Internet Explorer のセキュリティ設定が厳しい場合、アクセス時に警告が表示される場合があります。この場合は、信頼済みサイトに該当するマシンの URL を追加してください。
- Windows Media サービス 9 の管理画面(WMS)を表示しようとすると、「ページを表示できません」とエラー画面が表示される
Windows Media サービス Web アドミニストレータがインストールされていない可能性があります。以下の方法で再度インストールを行ってください。
 1. スタートメニューより、「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」を選

択します。

2. Windows コンポーネントの追加と削除を選択します。
3. Windows Media サービスの詳細項目を選択し、「Windows Media サービス Web アドミニストレータ」の項目にチェックが入っていない場合は、チェックを入れ「OK」を押して、インストールを行います。

WindowsMedia サービス Web アドミニストレータで SSL の設定がされていない可能性があります。SSL の設定が行われていない場合、「Windows Media サービス 9 Web 管理インタフェース(WMS ページ)の SSL 対応」を参考にして、SSL の設定を行ってください。

- IIS の管理画面を表示しようとすると、「ページを表示できません」とエラー画面が表示される
IIS のリモート管理(HTML)がインストールされていないことが考えられます。以下の方法で再度インストールを行ってください。
 1. スタートメニューより、「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」を選択します。
 2. 「インターネット インフォメーション サービス(IIS)」を選択します。
 3. 「WWW(World Wide Web)サービス」を選択します。
 4. メニュー項目をスクロールさせ、「リモート管理(HTML)」の項目にチェックが入っていない場合は、チェックを入れ「OK」を押して、インストールを行います。
- IIS や WMS の管理画面にアクセスした場合、証明書に関する警告が表示される
クライアントに証明書がインストールされていない場合、証明書に関する警告が表示される場合があります。その際、「証明書の表示」を選択し、「証明書のインストール」を行うことで、証明書のインポートを行うことができます。これにより、以降、同ページでの証明書に関する警告は表示されなくなります。
- IIS 管理画面にアクセスした際に、「状態:警告」と画面上方に表示される。
「Web 管理インタフェースでの操作上の注意」の「Internet Information Service(IIS) 管理画面」に対処方法が記載してあります。そちらを参照してください。
- ディレクトリ管理画面でコンテンツの視聴テストを実行した際に、映像の再生に失敗する
以下のような原因が考えられます。
 1. Windows Media サービス 9 での公開ポイント設定で、新しい接続を拒否している可能性があります。(インストール直後は、この設定が拒否になっています。)

Windows Media サービス 9 の管理画面(WMS)より、該当する公開ポイントの接続可否を確認してください。公開ポイントのモニタ画面上部で、公開ポイントが接続を許可しているか、拒否しているかを確認することができます。接続を許可に変更するには、画面下部の「許可」ボタンを押してください。

2. リモートマシンからのアクセスの場合、途中にファイアウォール等があると、ストリーミングに使用するプロトコルが通らず、再生に失敗する場合があります。ネットワーク状態を確認してください。
3. クライアントのプレイヤーが Windows Media サービス 9 の再生コーデックに対応していないことが考えられます。古いバージョンの Windows Media Player を使用している場合には、Windows Media Player のバージョンを上げるか、Windows Media9 コーデックのダウンロードを行ってください。

- ホスト名を「localhost」と指定してローカルマシンの WM9S-Plus に接続した際に、IIS の管理画面が正しく表示されない

「localhost」で接続した場合、IIS の管理画面でのアクセス認識問題により、警告が出力される場合や、エラーが発生してページが正しく表示されない場合があります。これを防ぐには、ホストのIPを指定して接続を行ってください。

4.3 運用に関するトラブルシューティング

- WWW サーバの規定のWebサイト(ポート 80)に対してのアクセスが失敗する

StreamPro/WM9S-Plus では、インストール時に、WWW サーバの規定の Web サイト(ポート 80)のサービスを停止します。これは、Windows Media サービス 9 で HTTP 通信を用いたストリーミング配信をする場合に、WWW サーバの規定のWebサイトとポートが衝突することを防ぐためです。ポート 80 を規定のWebサイトで使用したい場合には、IIS の管理画面より「規定の Web サイト」を選択し、「開始」ボタンを押してください。

また、ポート 80 を HTTP でのストリーミングに使用したい場合には、Windows Media サービス 9 の管理画面より、マシン全体のプロパティを選択して、「制御プロトコル」の項目より、「WMS HTTP サーバ制御プロトコル」のプラグインを有効にしてください。

- 視聴ログの情報がすぐ反映されない

StreamPro/WM9S-Plus のログ表示機能では、ログ収集サービスにより事前に収集されたログ情報を表示しています。デフォルトでは、ログ収集周期は 1 時間に設定されていますので、情報の反映には若干タイムラグが発生する場合があります。ロ

ログ収集のタイミングについては、第 2 章のログ収集サービスの項目に、設定方法が記載されています。

- 視聴ログの集計数が、Windows Media サービス 9 のログ上の数と異なる
StreamPro/WM9S-Plus のログ集計機能では、アクセスに失敗した際のログは集計されません。接続に成功したログのみが集計の対象となります。そのため、ログ数が Windows Media サービス 9 のログと異なる場合があります。
- ファイルのアップロード時に、一定時間で切断されてしまい、ファイルを完全にアップロードできない
Internet Explorer の設定で Proxy サーバを使用している場合、Proxy サーバの種類によっては、一定時間で接続を強制的に切断してしまうものがあります。また、Proxy サーバ使用時は、一般的にアップロード速度が低下します。Proxy サーバを使用している場合には、Proxy サーバの設定を解除して使用してください。
- ファイルのアップロードを中断した場合、アップロード先ファイルが残る
ファイルのアップロード中断時は、中断時まで転送したファイルをアップロード先に残す仕様となります。ご了承ください。
- 2GB 以上のファイルがアップロードできない
仕様です。StreamPro/WM9S-Plus では 2GB までのファイルのアップロードをサポートしています。それ以上のファイルをアップロードする必要がある場合には、FTP やファイル共有等の手段を使用してアップロードを行ってください。
- 0 バイトのファイルがアップロードできない
仕様です。StreamPro/WM9S-Plus では 0 バイトファイルのアップロードをサポートしていません。
- Windows Media サービスを停止させた際に、自動的にサービスが起動してしまう
StreamPro/WM9S-Plus のログ収集サービスでは、Windows Media サービス 9 より、定期的に情報収集を行っています。この情報収集の際に、システムが自動的に Windows Media サービスを起動してしまいます。これを防ぐには、サービスより、「StreamPro/WM9S-Plus Log Collection Service」を一時的に停止させてください。また、Windows Media サービスを停止後に、再び起動させた際には、「StreamPro/WM9S-Plus Log Collection Service」も忘れずに起動させてください。

なお、ユーザのアクセスを遮断したい場合は、Windows Media サービスを停止する方法以外にも、各公開ポイントへのアクセスを「禁止」に設定する方法があります。この方法であれば、サービスを起動した状態で、ユーザからのアクセスを遮断できるため、上記のサービス停止を行う必要はありません。

StreamPro/WM9S-Plus Ver.1.1
(Microsoft® Windows® Server 2003, 32-bit Enterprise
Edition for Embedded Systems with the Server Appliance
Software Version 3.0 (1-8 Proc Version)版)
マニュアル

2003年9月 第二版

2003年5月 初 版

©NEC Corporation 2003

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。